



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラク：中央政府とクルディスタン地域政府（KRG）との関係（9月8日付現地各紙）

8日付現地各紙は、イラク中央政府とクルディスタン地域政府（KRG）との関係について報じている。概要は以下のとおり。

中央政府と KRG との関係

1. ムスタファ KRG 外務長官の発言（アダーラ紙）

- (1) 最近の爆発事件によりイラクとシリアの関係が緊張していることに加え、治安状況も複雑化していること、また、政党の再編が進行していることに鑑みれば、現在のイラクの状況は、ネチルバン・バルザーニー KRG 首相をヘッドとする代表団のバグダッド訪問を行うのに適切なものではない。
- (2) KRG としては、同代表団のバグダッド訪問は単にメディア向けのものではなく、本訪問により懸案事項の解決のために真剣に中央政府と協議することを希望している。

2. バルザーニー KRG 大統領とアブドルマハディ 副大統領との電話会談（タアヒーヤ紙）

イラク大統領府の声明によれば、バルザーニー KRG 大統領は、アブドゥルマフディ・イラク 副大統領と電話会談を行い、同会談においてアブドルマハディ 副大統領は中央政府と KRG との関係の緊密化・強化について指摘して、両者間で懸案となっている問題の解決を促した。

国会の再開

1. 9月8日、国会は4年の任期における最終会期を再開する。関係筋によれば、残された会期内に作業を成功裡に進める方法を議論する為に、国家議長事務局と法律委員会が開催され、作業計画の作成に関する合意が行われた。
2. 同会期では、前期（7月28日閉会）の会期で議論されなかった、あるいは、議決が延期された石油・ガス法、選挙法、社会保護ネットワーク法、英国との安全保障協定、投資法の改正及び補正予算を含め多くの法案について議論が行われることになる。更に、近隣国、特にシリアとの治安に関する議論、閣僚や政府責任者に対する喚問も行われるが、電力相及び独立高等選挙委員会委員長の喚問は最初の週に行われる。
3. 関係筋によれば、国会議長事務局は、重要法案に関する議論、特に選挙法、国会の監視機能の強化、国会本会議または定期的諸会合の場での政治、経済及び治安の最新状況に関する協議を議会での優先事項とすることを決定した。